

○全体

- ・お手伝い校制度があればいいのに。
- ・タイトルのアナウンスの確認は直前ではなくもっと前に。
- 委員で情報を共有。
- ・遅くなる日は親に連絡しておくべき。
- ・注意事項のアナウンスはこまめに。
- ・感想用紙は事前に作っておく。
- 誰が作るのか確認。
- ・感想用紙は全上演校分折り込んでおく。
- 名前を書かせた方がいいのでは？
- ・リハには余裕を持って来てください。
- ・バミリテープの大きさ間違えないようにしてください。
- ・リハーサルの準備をしてくるのが良い。
- ・リハーサルのとき挨拶してください。(お願いします。)
- ・接客をもっと丁寧に。
- ・委員の間で情報交換。
- ・仕事を分担。
- ・反省会に無断で欠席するのはよくない。
- 絶対参加してくれ、来ない場合は連絡してくれ、とアナウンス。
- ・駒込、飲食スペースのいすを引くが結構響く。ヒールも響く。土足やめた方がいいかも。
- ・リハの挨拶。
- ・搬入は搬出確認しておく。
- ・台本、チラシは遅れず持って来てください。
- ・サイズはA4かB4、200部などで統一。
- ・会場校への感謝の気持ちを忘れずに。(お願いします。)
- ・節度ある高校生らしい服装。
- ・リハを監督する委員を分担。一日拘束されるのは辛い。地区大会委員の2年が中心に。
- ・大人の手が足りていない。顧問の協力を仰ぐ。
- ・受付の人が多すぎ。
- ・委員の態度悪いので、もっと愛想よくしましょう。
- ・「せんたりんく」でチラシのサイズと枚数、提出のタイミングを早めに連絡。
- ・Twitterではなく「せんたりんく」で情報を流す。
- ・控え室の場所をわかりやすく。
- ・上演時間を把握して、休憩時間が極端に長くないようにしよう。
- ・チラシ、キャスト名や学校名を書いておいた方が審査員にとってはありがたい。
- ・女子生徒に声かけをする不審な男性に注意する。
- ・地区大会と都大会の会場の仕様が違う。

○A日程 1日目

- ・審査員が来ているか確認。
- 呼びに行く人がアナウンス係に知らせる。
- ・音響ブースのマイクが壊れていたとき、スタッフがいて欲しい。
 - ・チラシの枚数、持って行くタイミングをせんだりんくでお知らせ。
 - ・バミテをはがすタイミング。
 - ・楽屋までの階段の上り下りを静かに。

○A日程 2日目

- ・保護者の途中入退場が多いので、マナーを守るよう呼びかけ。
- 困ったら先生に。
- ・幕間に否定的な意見を大きな声で言うのはいかがなものか。
 - ・意見は感想用紙に。

○B日程 1日目

- ・写真撮影禁止を張り紙などで呼びかけ。
 - ・お昼の場所を張り紙、アナウンス。
- 委員は把握しておく、案内係も用意。
- ・大道具は床を傷つけない工夫をしてくるべき、引きずらない。
 - ・進行状況を連絡。
- 伝達係を用意するなど。

○B日程 2日目

- ・ゴミ箱使用禁止の張り紙を早く掲示する。
 - ・警備をしっかりと。
- 対処法を決めておく。先生を頼る。
- ・時間が押さないように。
 - ・大道具の張り紙の間隔が狭い。
- リハの時点で、大道具の多い学校は要相談。
- ・飲食スペースでは騒がない。
- 上演中であることを教える。